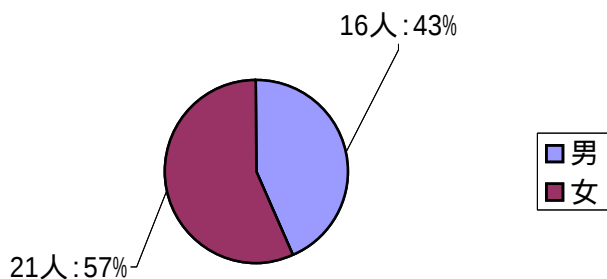


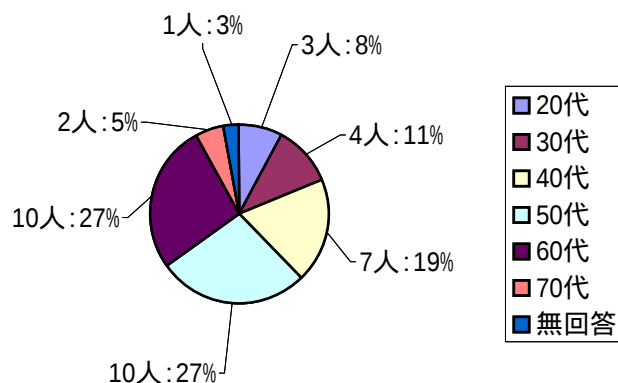
外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

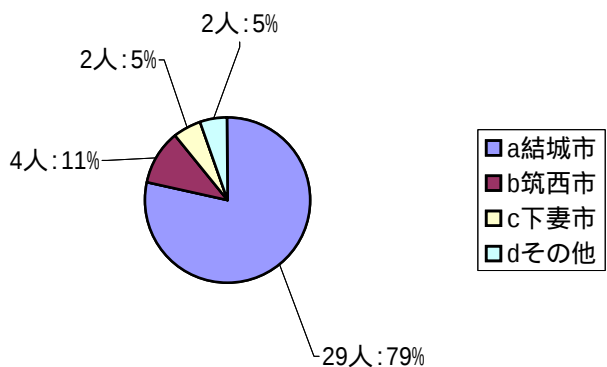
1. 性別



2. 年齢



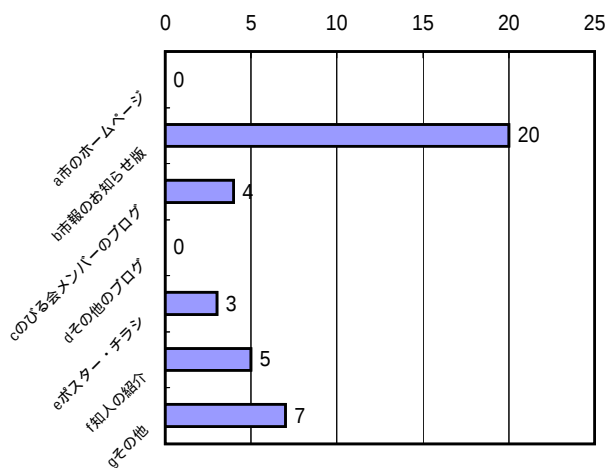
3. 住まい



3. 住まい

dその他	桜川市
	埼玉県熊谷市

4. 何で講座を知りましたか（複数回答可）



4. 何で講座を知りましたか（複数回答可）

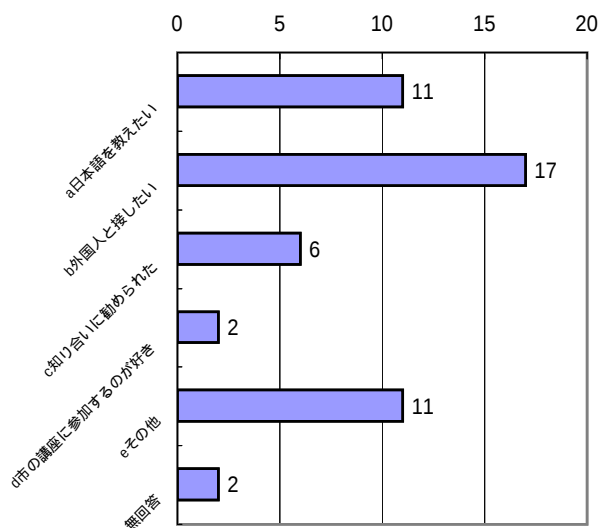
eポスター・チラシ 掲示場所	職場
----------------	----

gその他	勤務先
	のびる会
	町内街づくり委員会のPR
	教育委員会
	お知らせ
	のびる会メンバー
	現在メンバー

外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～ 講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

5. 受講の理由 (複数回答可)

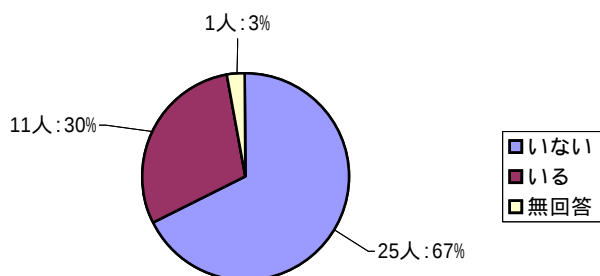


5. 受講の理由 (複数回答可)

e その他	7月よりのびる会に参加
	日本語指導に役立てたいから
	学校から勧められた
	外国人との接し方を学びたい

【異文化の経験】

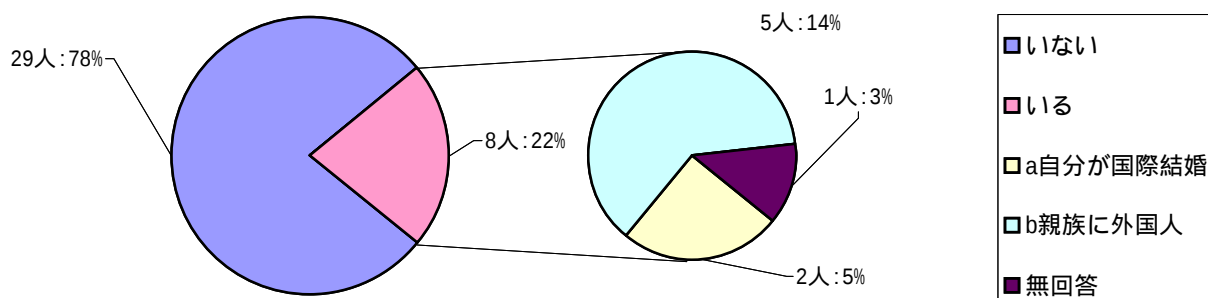
6. 外国人の親しい友人がいますか
(住んでいる場所は国内外を問わず)



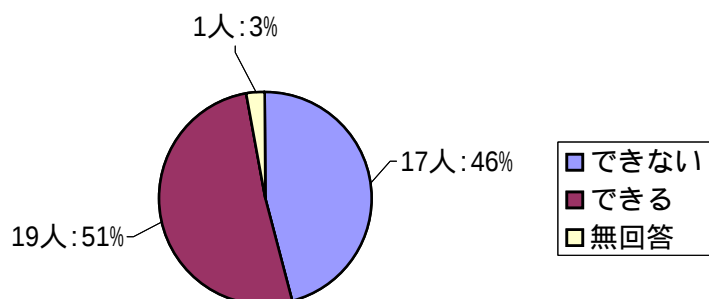
6. 外国人の親しい友人がいますか
(住んでいる場所は国内外を問わず)

e その他	フィリピン
	中国
	フランス
	ベトナム
	タイ
	ペルー
	ブラジル
	ポルトガル
	モザンビーク
	中米
	アフガン
	台湾
	韓国

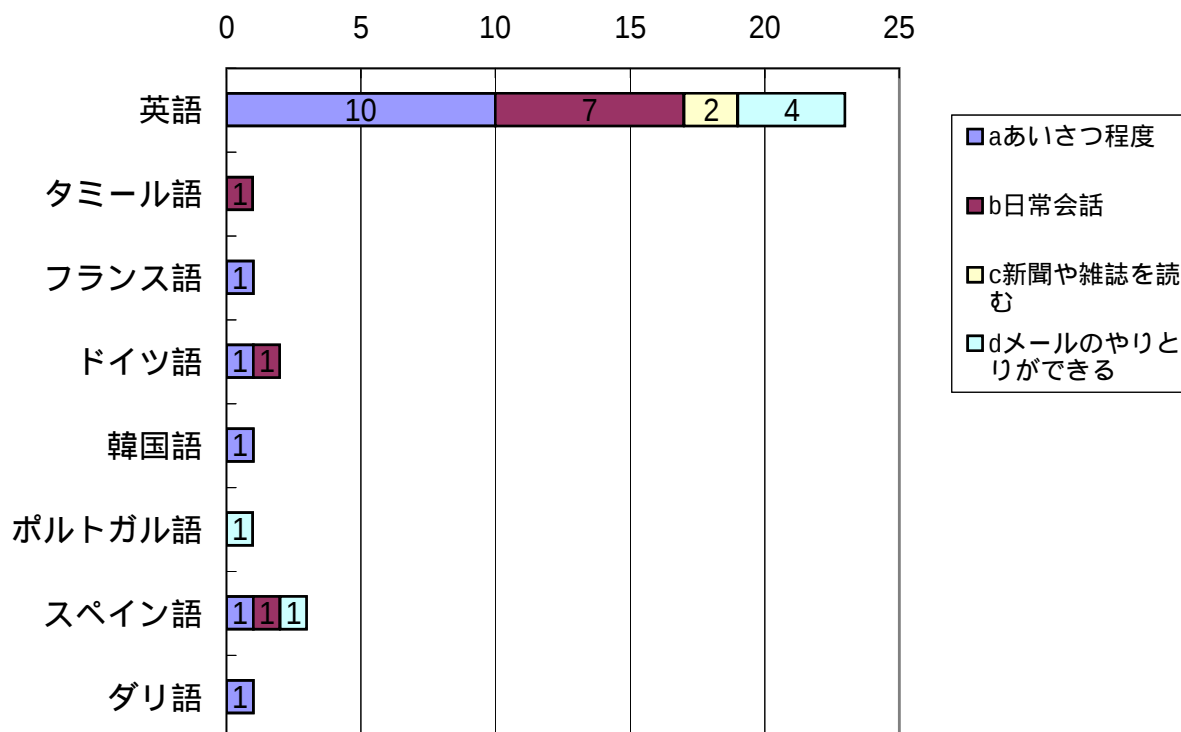
7. 家族か親族に外国人がいますか



8. 外国語ができますか



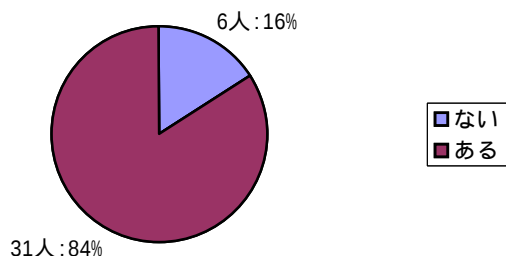
8-1.<"できる"と答えた方>何の外国語ができますか。



外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

9.海外旅行に行ったことがありますか。



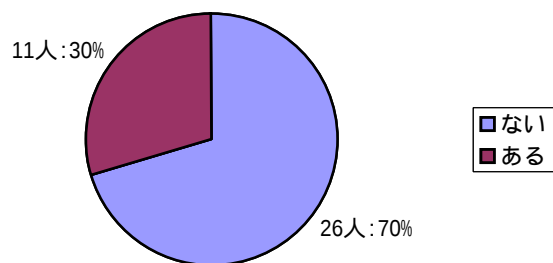
9.海外旅行に行ったことがありますか。 <"ある"と答えた方>

	国名	年前・ヶ月前	ツアー・個人	国名	年前・ヶ月前	ツアー・個人	国名	年前・ヶ月前	ツアー・個人	国名	年前・ヶ月前	ツアー・個人	他多数
1													他多数
2	中国	2年前	ツアー	アメリカ	3年前	個人	フランス	7年前	個人	イタリア	10年前	ツアー	
3	マレーシア	5年前	個人	シンガポール	6年前	個人	インドネシア	3年前	ツアー	韓国	5年前	ツアー	
4	イギリス	4年前		ドイツ	4年前		オランダ	4年前					
5	オーストラリア	13年前	ツアー	中国	1年前	個人							
6	インド	毎年	個人	フィリピン	毎年	個人	バンコク	1ヶ月前	個人				他多数
7	中国	数回											
8	インド	25年前	個人	スリランカ	20年前	個人	ポルトガル	12年前	個人	オランダ	3年前	個人	他多数
9	イギリス	15年前	個人	スイス	15年前		インドネシア	13年前	個人	タイ	10年前	個人	
10		30年前	個人										
11	スイス	4年前	個人	ドイツ・オーストリア	3年前	ツアー	イタリア・カナダ	2年前	ツアー	ハワイ	4年前	個人	
12	アメリカ(ハワイ)	4年前	個人										
13	ニュージーランド	20年前	ツアー										
14	中国	1ヶ月前	ツアー	カナダ	3年前	ツアー	アメリカ	4年前	ツアー	ベトナム	5年前	ツアー	他多数
15	韓国	20年前・12ヶ月前	個人										
16	オーストラリア	16年前・10年前	個人	パキスタン	13年前・11年前・10年前	個人	韓国	10年前	個人				
17	オーストラリア												
18	ベルギー	7ヶ月前	ツアー	オーストラリア	10年前	ツアー	インドネシア	15年前	個人	シンガポール	15年前		
19	カナダ	20年前	ツアー	アメリカ	20年前	ツアー	中国	4年前	ツアー	韓国	3年前	ツアー	
20	スウェーデン	2年前	個人	アメリカ	3年前	個人	メキシコ	2年前	個人	ポルトガル	6年前	個人	他多数
21	アメリカ	20年前	ツアー	イタリア	20年前	ツアー	フランス	20年前	ツアー	スイス		ツアー	
22	香港	15年前	ツアー	オーストリア	2年前	個人							
23	韓国	20年前	個人										
24	アメリカ	2年前	個人										
25	アメリカ	2年前	個人										
26	マレーシア			イギリス			フランス			ドイツ			他多数
27	パキスタン	5年前	個人	アフガニスタン	5年前・2ヶ月前		タイ	1ヶ月前	個人				
28	フィリピン	7年前	個人	アメリカ	2年前	個人	中国	1年前	個人	台湾	2年前	個人	他多数
29	韓国	8年前	ツアー										
30	タイ	7年前	個人	韓国	20年前	ツアー	ドイツ	10年前	個人	フランス	10年前	個人	
31	アメリカ		個人	韓国	10年前	個人	イタリア	3～4年前	ツアー・個人	マレーシア	10年前	個人	

外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

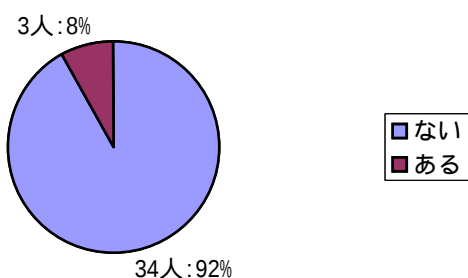
10.1ヶ月以上の継続した海外生活の経験
がありますか



10.1ヶ月以上の継続した海外生活の経験がありますか
<"ある"と答えた方>

	国名	期間	年前・ヶ月前	国名	期間	年前
1	スペイン		1ヶ月前	イギリス	2年	
2	ザンビア	2年	30年前			
3	イギリス	1年				
4	韓国	1年	20年前			
5	マレーシア	3年	15年前			
6	ポルトガル	10ヶ月	11年前			
7	パナマ	2年	15年前			
8	マレーシア	3年				
9	パキスタン	2年 3ヵ月ごろ数回にわたって	17年前から数回	タイ	5ヶ月 数回にわたって	2009年・2009年 数回にわたって
10	フィリピン	1年	7年前			
11	タイ	3ヶ月	7年前			

11. 自宅で外国人のホームステイを受け入
れたことがありますか

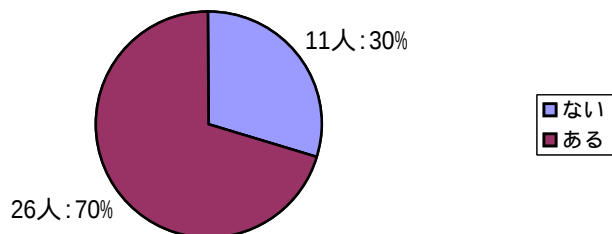


11. 自宅で外国人のホームステイを受け入れたことがありますか

ある	オーストラリア
	エチオピア
	タイ

【共生への意識】

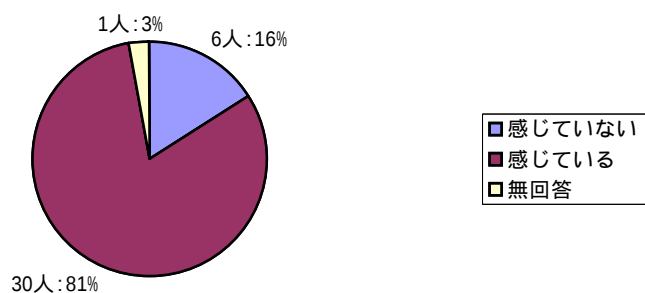
12. "多文化共生"という言葉聞いたことがありま
すか



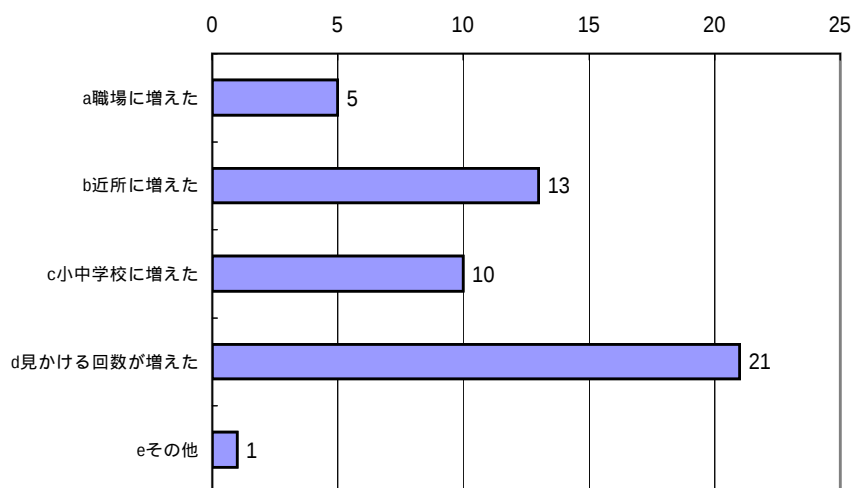
外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

13.10年ぐらい前と比べてお住まいの地域（市町村）に外国人住民が増えていると感じていますか

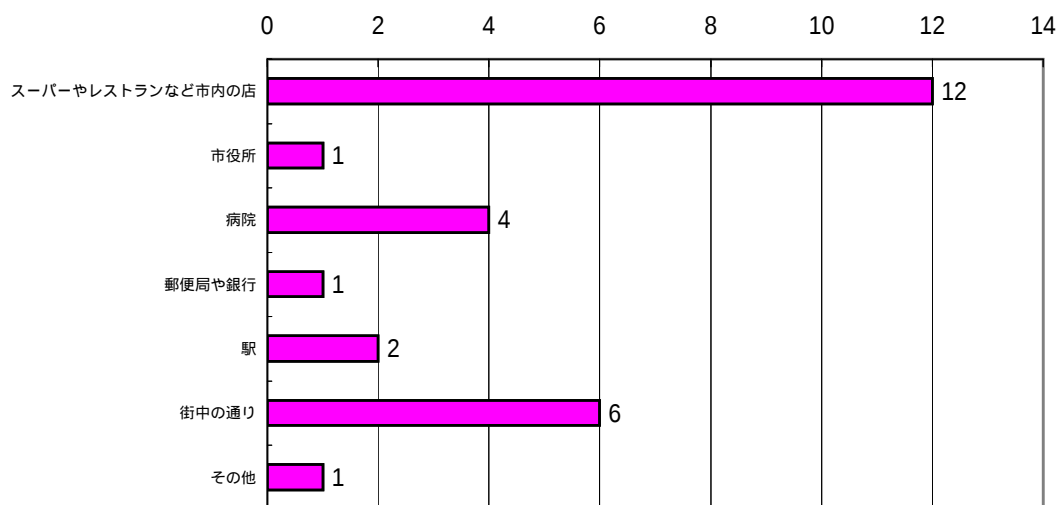


13-1.<"感じている"と答えた方>どんな時に感じますか（複数回答可）



eその他
農業研修生を圃場で見かける

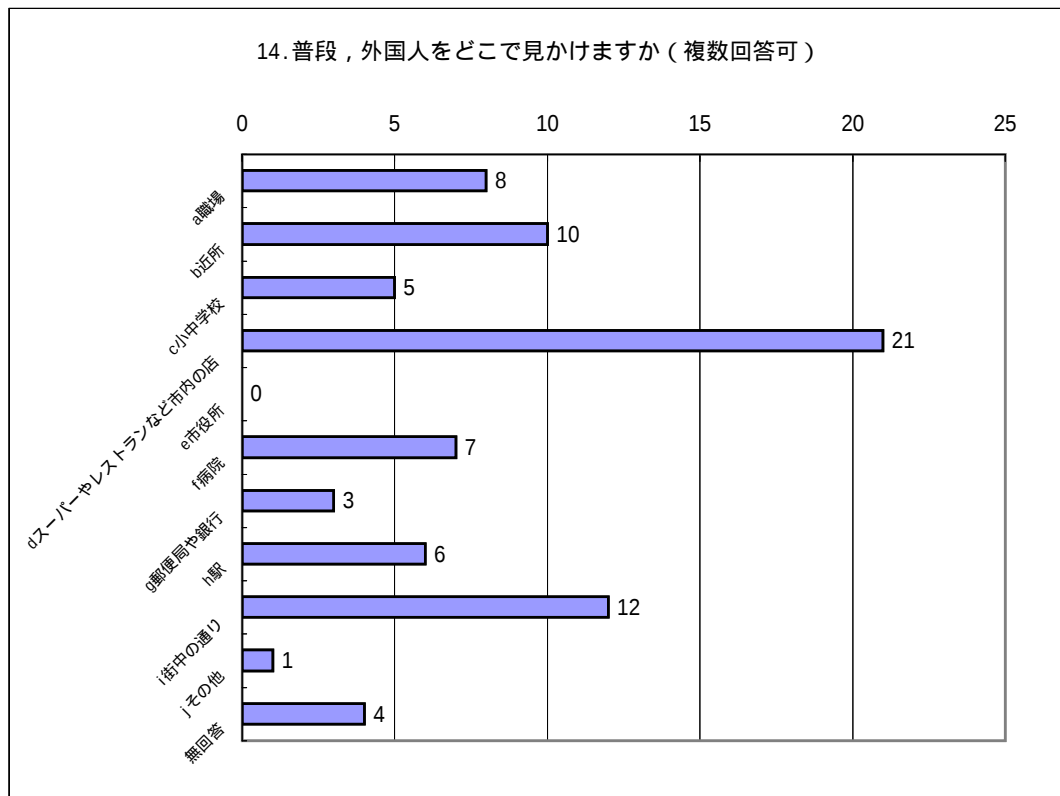
<"d見かける回数が増えた"と答えた方>どこで見かけることが増えましたか



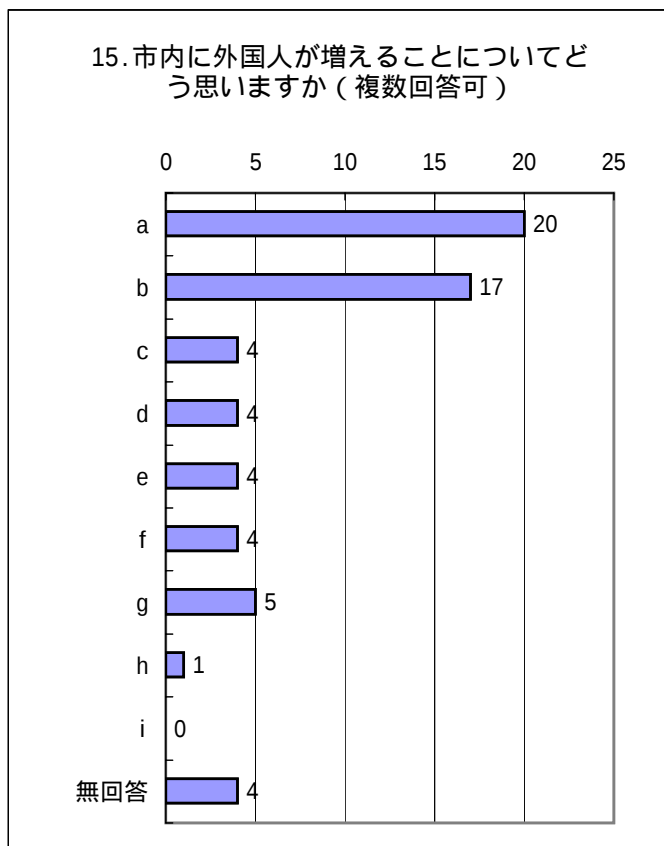
その他
祭り

外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～ 講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名



j その他
大学



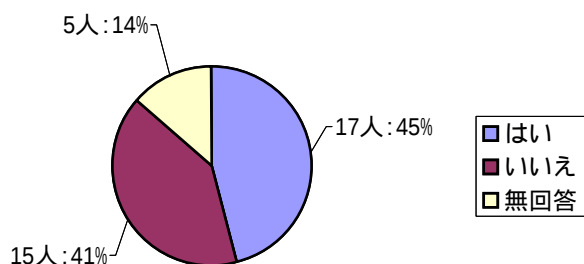
15. 市内に外国人が増えることについてどう思いますか（複数回答可）

- a外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える
- b地域で外国人と交流できる
- c地域の経済的な発展につながる
- d特定の外国人だけの集まる場所ができ不安だ
- e治安が悪化する可能性がある
- f習慣や文化の違いから外国人とのトラブルが増えるだろう
- g外国人向けの施策、インフラが必要になるなど、社会的負担が増えるだろう
- hわからない
- i その他
- 無回答

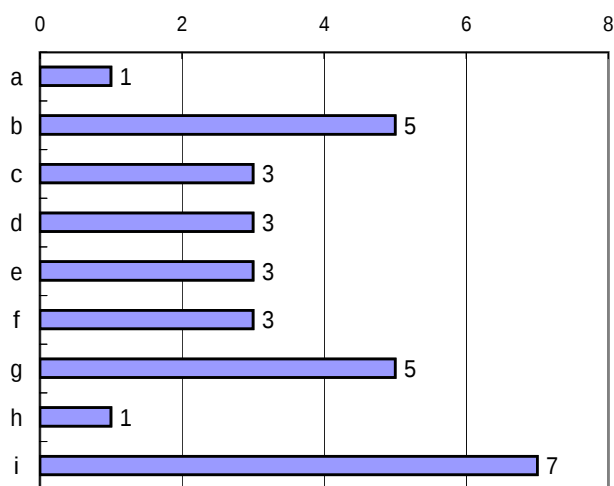
外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

16. 現在日常生活の中で外国人との交流は
ありますか



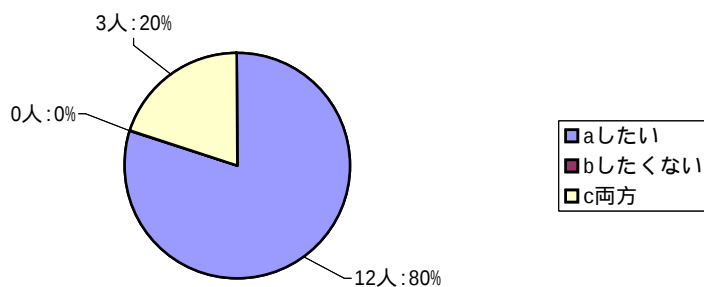
16-1.<"はい"と答えた方>それはどういう関係
にある人ですか（複数回答可）



16-1.<"はい"と答えた方>
それはどういう関係にある人ですか（複数回答可）

- a 夫または妻
- b 勤務先の上司・部下・同僚・アルバイトなど
- c 勤務先の取引先・顧客・患者・生徒など
- d 同級生・友人などとその家族
- e 同じ町内会に所属または近所に住んでいる人
- f 同じ団体・サークル・教室などで活動している人
- g 海外へ旅行・留学・仕事に行った時に知り合った人
- h ホームステイをひき受けた時に泊めた人
- i 日本語指導・通訳・翻訳・付き添いなどの支援をしている相手

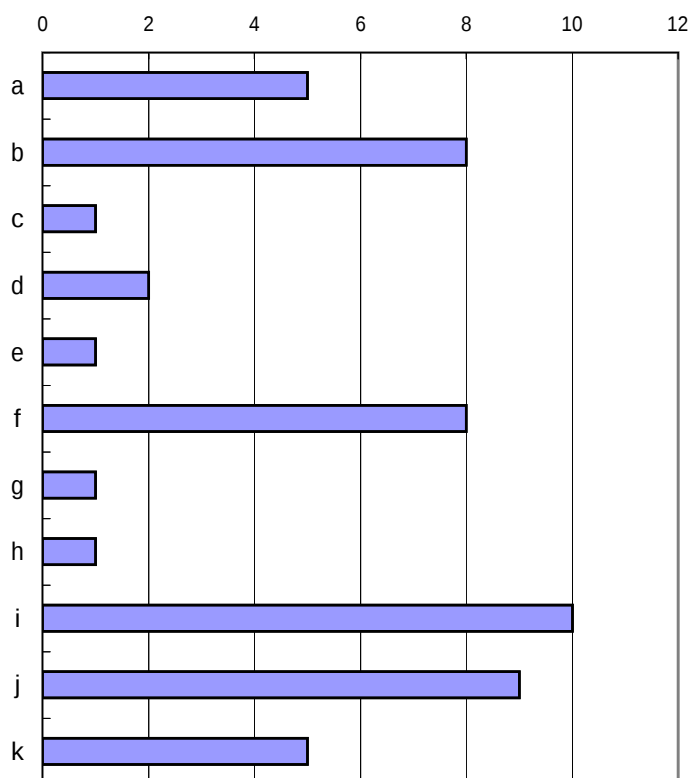
16-2.<"いいえ"と答えた方>機会があれば外国人と交
流したいですか



外国人との共生についてのアンケート 集計結果
～ 講座事前アンケート～

平成21年9月4日実施
回答数:37名

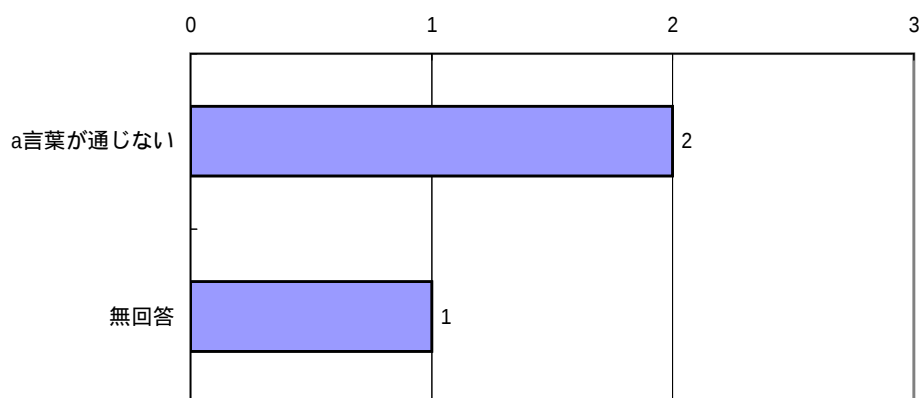
16-2-1.<"aしたい"または"c両方"に○をつけた方>
どのような交流をしたいですか(複数回答可)



16-2-1.<"aしたい"または"c両方"に○をつけた方>
どのような交流をしたいですか(複数回答可)

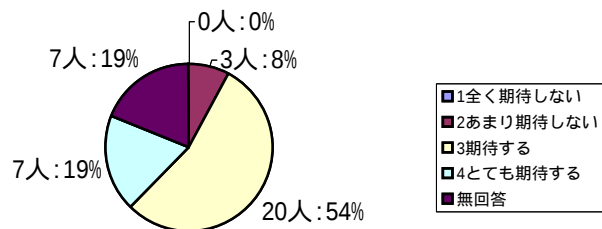
- a挨拶する
- b簡単な会話をする
- cお互いの家を訪問しあう
- d電話・メール・手紙などのやりとりをする
- e一緒に買い物をする
- f一緒に行事や活動・イベントなどに参加する
- g公共機関や病院などに付き添いで行く
- h相談にのる,または相談相手になってもらう
- i外国語や外国の文化,外国の様子などを教えてもらう
- j日本語・日本文化や習慣を教える
- k生活上のルール・規則などを教える

16-2-2.<"bしたくない"または"c両方"に○をつけた方>交流し
たくない理由は何ですか(複数回答可)

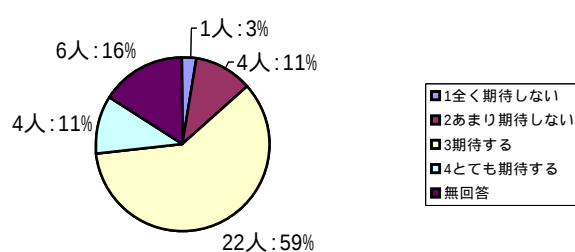


17. 同じ地域に住む外国人に期待すること

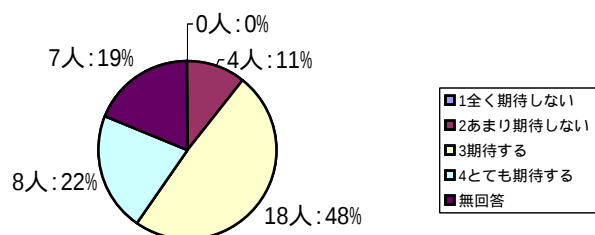
・日本語や日本文化を学ぶ



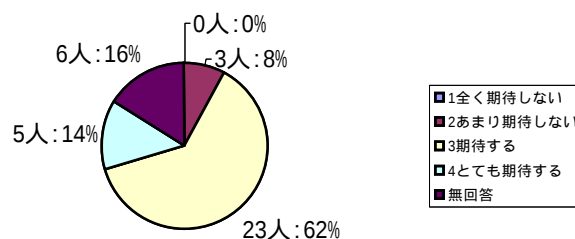
・外国語や外国の文化を市民に教える



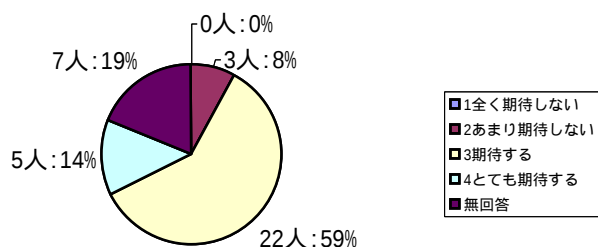
・生活のルールを守る



・地域の活動や市のイベントなどに参加する

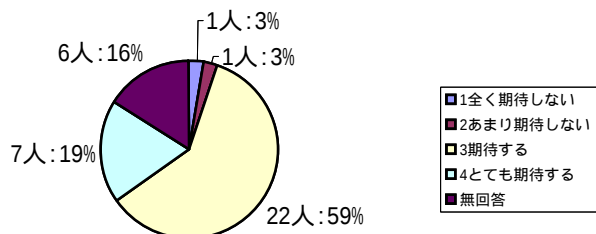


・生活の中で感じたことを発言・発言する

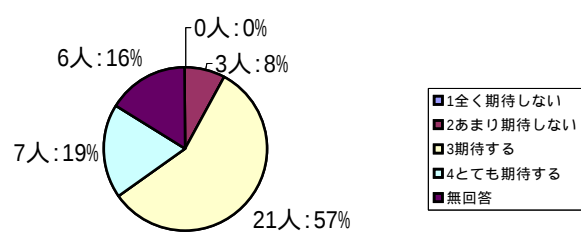


18. 同じ地域に住む日本人に期待すること

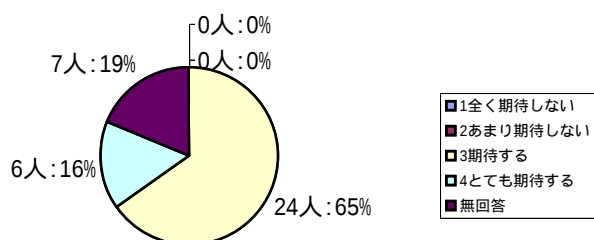
・外国語や外国の文化を学ぶ



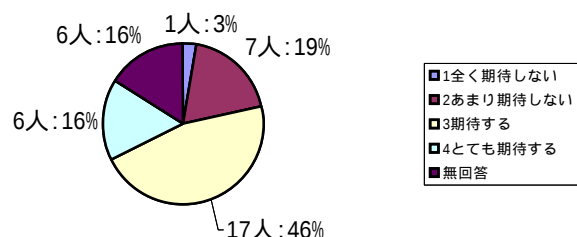
・生活のルールを外国人に教える



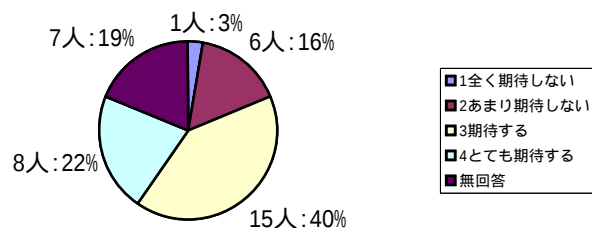
・地域の活動や市のイベントなどに外国人と一緒に参加する



・日本語の教え方やコミュニケーションの方法を講座等を受講して学ぶ



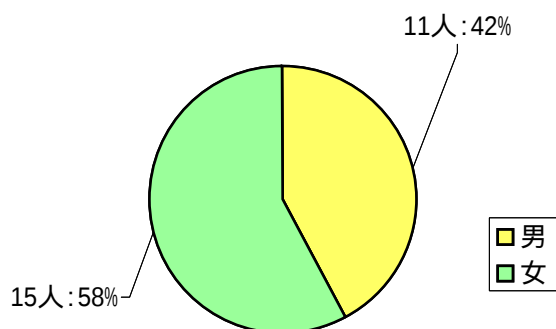
・ボランティア日本語教室や国際交流の活動に参加する



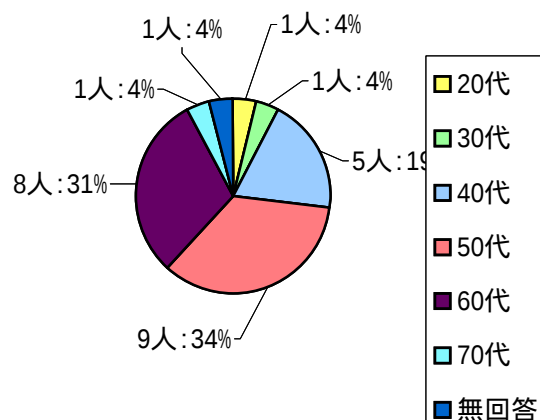
日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施
回答数: 26名

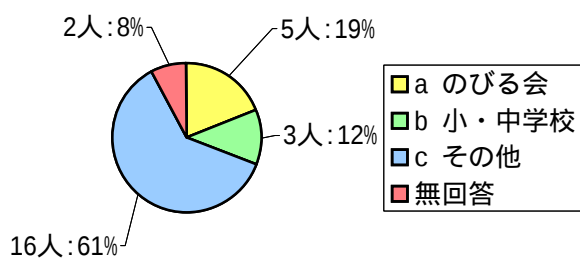
1. 性別



2. 年齢

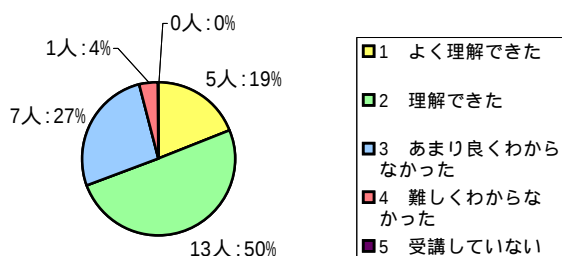


3. 所属

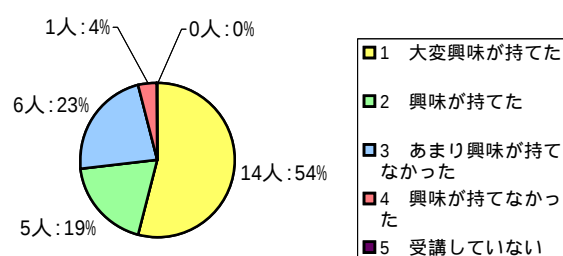


4. 講座の内容について

(1)理解度 第1回 多文化共生と日本語支援
(長谷川)



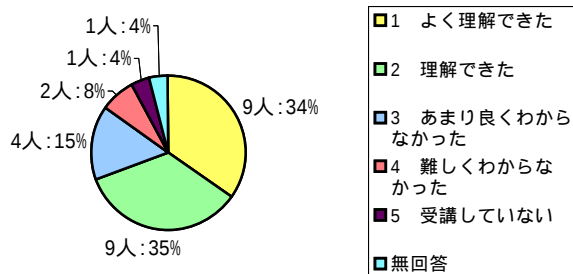
(2)興味度 第1回 多文化共生と日本語支援(長谷川)



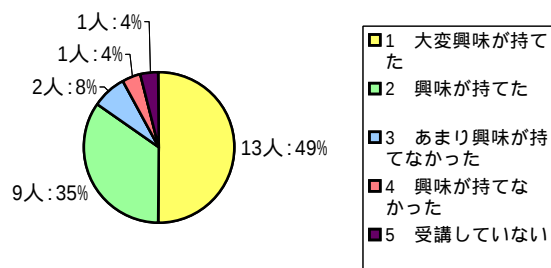
日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施
回答数:26名

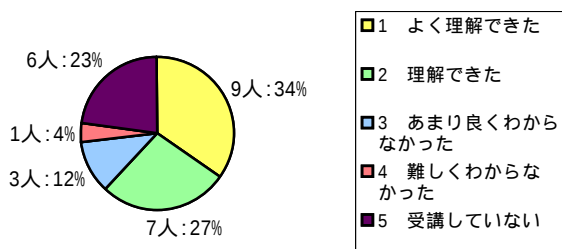
(1)理解度 第2回 結城市民（外国人・日本人）
の声を聞こう（本田・金城）



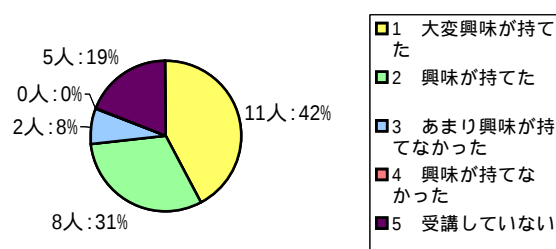
(2)興味度 第2回 結城市民（外国人・日本人）
の声を聞こう（本田・金城）



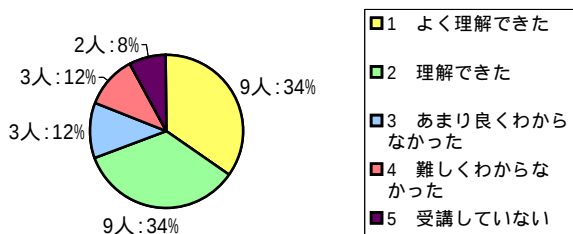
(1)理解度 第3回 結城市民（外国人・日本人）
の声を聞こう（ニコム、寺山）



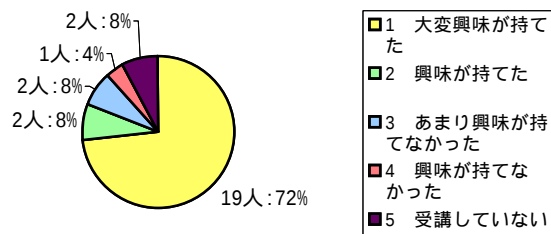
(2)興味度 第3回 結城市民（外国人・日本人）
の声を聞こう（ニコム、寺山）



(1)理解度 第4回 異文化体験をしよう ～ペル
シャ語で“こんにちは”～（フェレシテ）



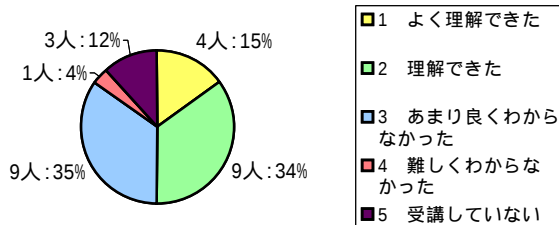
(2)興味度 第4回 異文化体験をしよう ～ペル
シャ語で“こんにちは”～（フェレシテ）



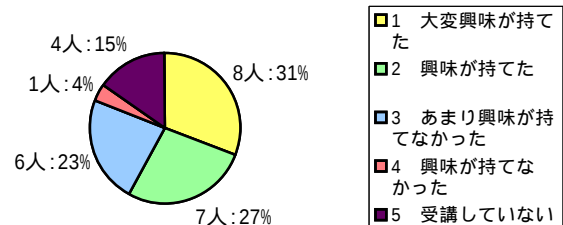
日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施
回答数:26名

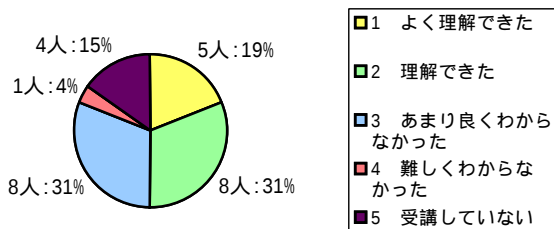
(1)理解度 第5回 日本語の教え方の基礎 外国語としての日本語 - 国文法と日本語教育文法 (松浦)



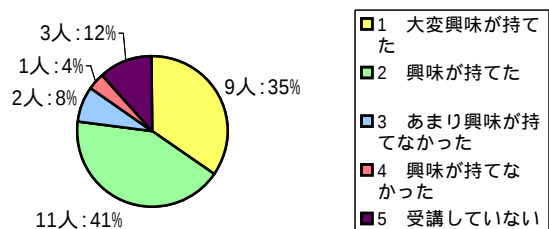
(2)興味度 第5回 日本語の教え方の基礎 外国語としての日本語 - 国文法と日本語教育文法 (松浦)



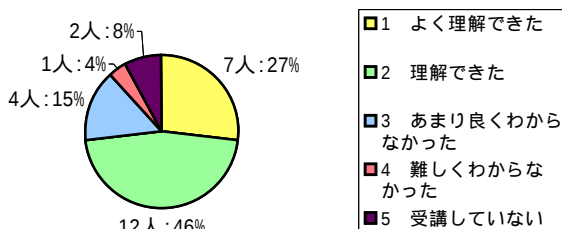
(1)理解度 第6回 日本語の教え方の基礎 教材の紹介、外国人の立場で“て形”を作る (松浦)



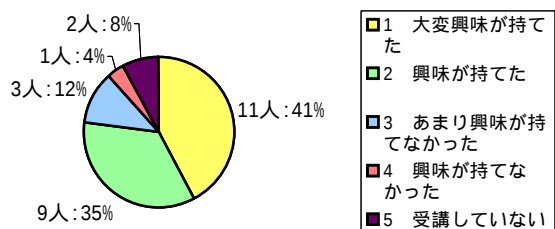
(2)興味度 第6回 日本語の教え方の基礎 教材の紹介、外国人の立場で“て形”を作る (松浦)



(1)理解度 第7回 日本語の教え方の基礎 授業の流れを考える、模擬授業 (松浦)



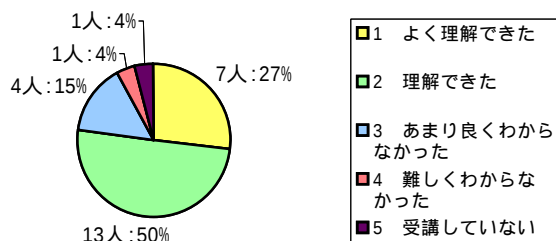
(2)興味度 第7回 日本語の教え方の基礎 授業の流れを考える、模擬授業 (松浦)



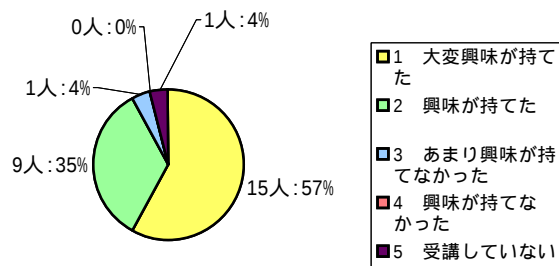
日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施
回答数:26名

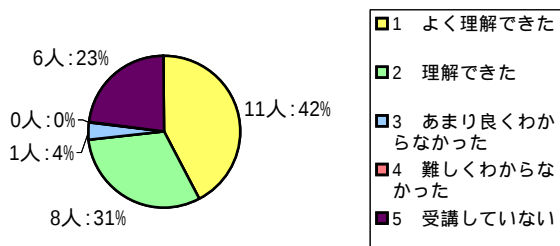
(1)理解度 第8回 やさしい日本語の作り方
(角田)



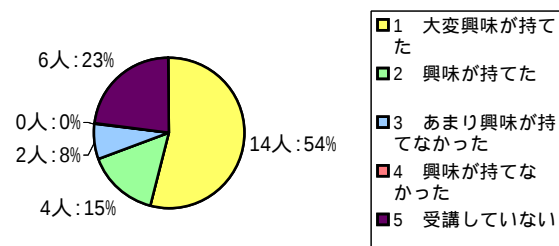
(2)興味度 第8回 やさしい日本語の作り方
(角田)



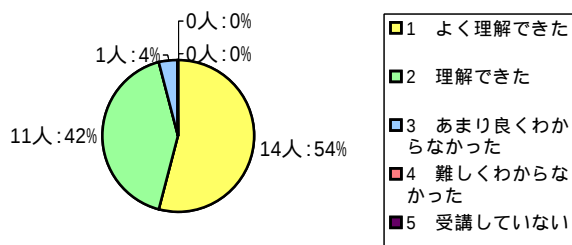
(1)理解度 第9回 外国人と交流しよう～ゴミの分別～(角田)



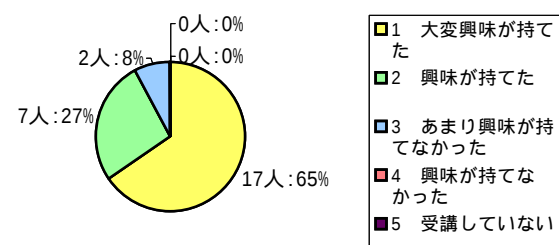
(2)興味度 第9回 外国人と交流しよう～ゴミの分別～(角田)



(1)理解度 第10回 外国人と交流しよう～地震に備えて～(角田)



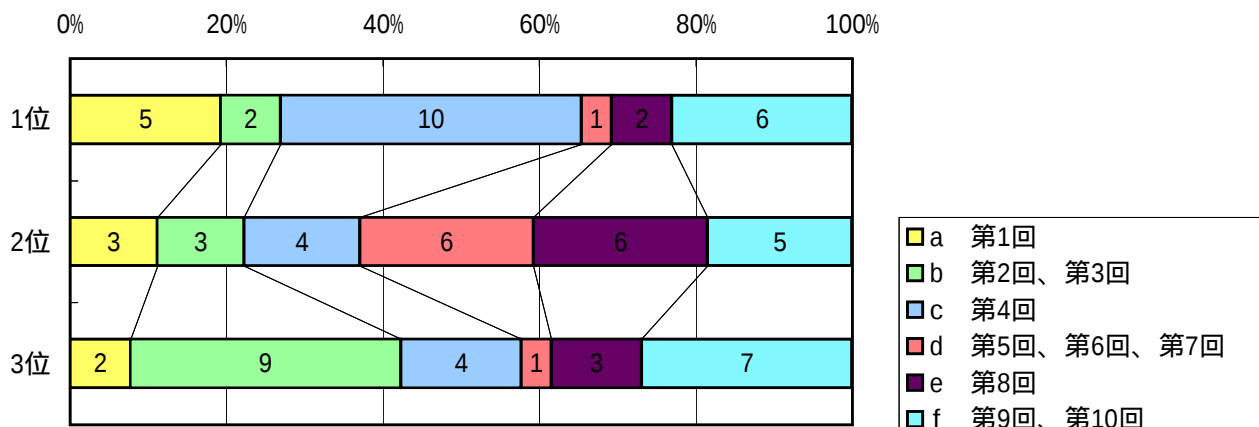
(2)興味度 第10回 外国人と交流しよう～地震に備えて～(角田)



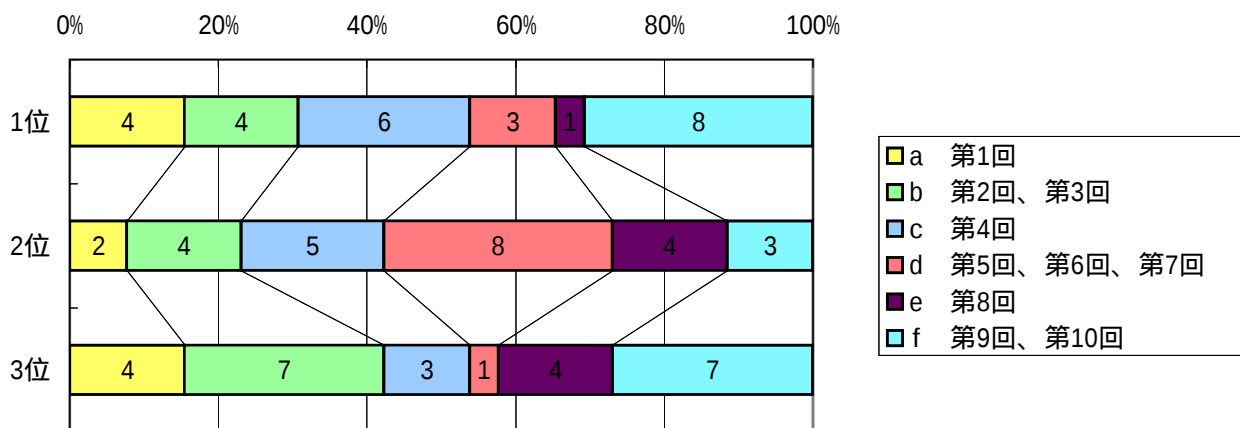
日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施
回答数: 26名

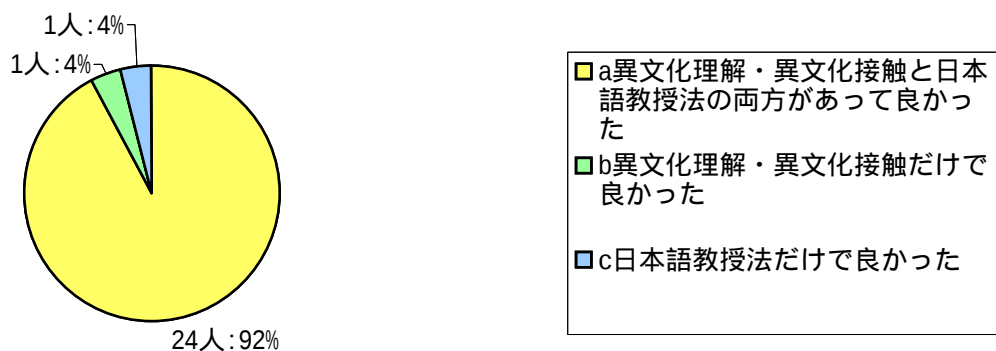
(3) 特に印象が深かった回



(4) 参加できて良かったと思える回



5. 今回の講座では、1～10回の中に“異文化理解・異文化接触”と“日本語教授法”の両方を盛り込みました。どう思われましたか。

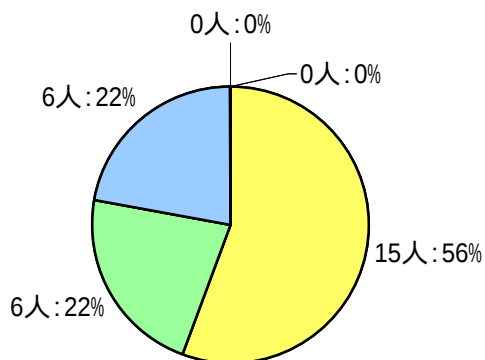


日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施

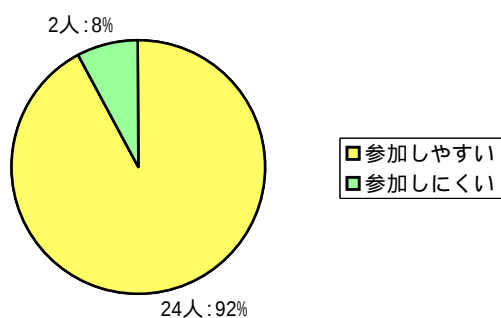
回答数:26名

6. 今後、再度講座を開くとしたら、どのようなものに参加してみたいですか。



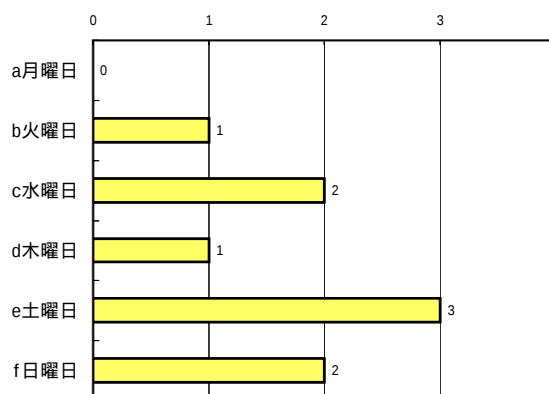
- a今回と同じように異文化理解・異文化接触と日本語教授法の両方が含まれているもの
- b異文化理解・異文化接触だけのもの
- c日本語教授法だけのもの
- d一度受講したので、もう十分
- e受講してみたが、あまり意味がなかったなので、もう受講はしない

7. 今回の開催曜日はどうでしたか。

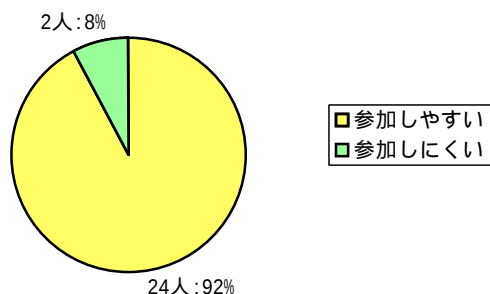


- a参加しやすい
- b参加しにくい

曜日の希望はありますか

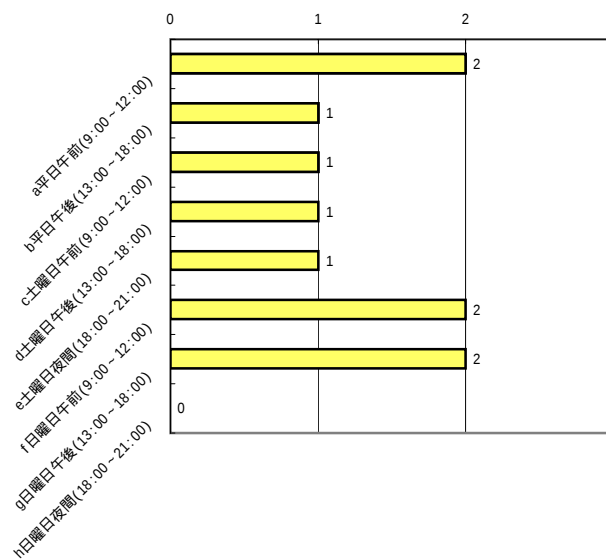


8. 今回の開催時間はどうでしたか。



- a参加しやすい
- b参加しにくい

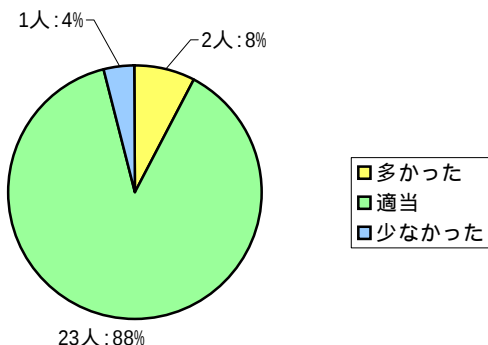
時間帯の希望はありますか



日本語支援ボランティア養成講座についてのアンケート調査 集計結果
～講座修了アンケート～

平成21年11月13日実施
回答数:26名

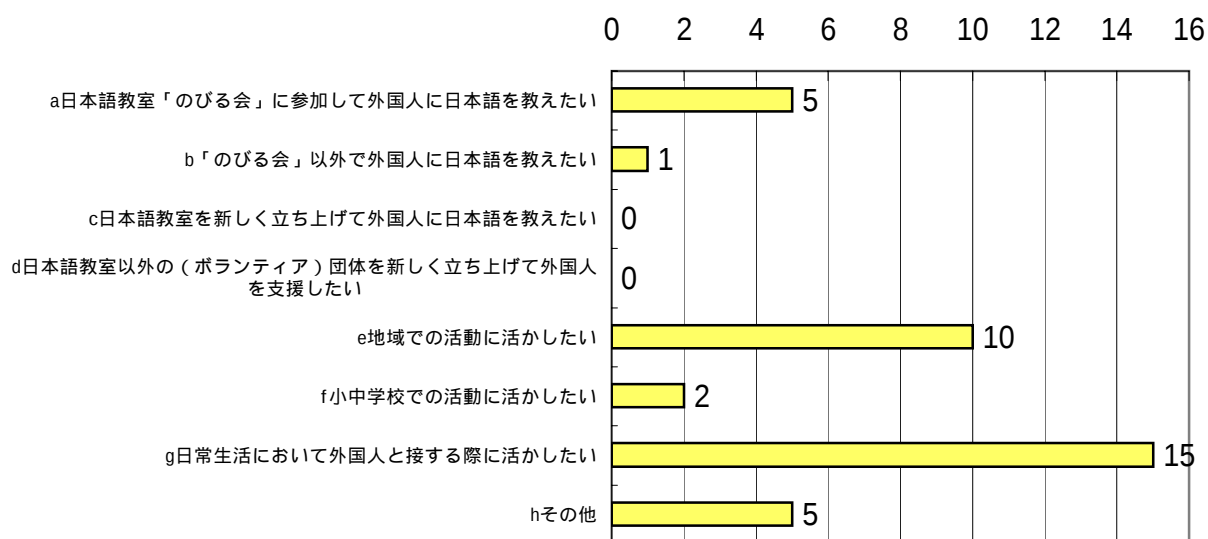
9. 講座の開催回数はどうでしたか。



9-1.<"多かった"または"少なかった"と答えた方>
回数の希望はありますか

3回
5回
無回答

10. 今後、この講座で学んだことをどのように活かしていきたいですか。



【hその他 記載欄】

- ・金曜日の夜の時間がこんなにたくさんの方が集まったので、これからも皆さんと金曜日にお会い出来ればと思う。
- ・今回の講座で勉強したことを生かせればいいと思います。
- ・私自身仕事で忙しく、日本語ボランティアの活動は外国人（主に英語圏以外）の国の人に日本語を教えることであり、英語の語学力を生かす主旨とは違っていることを学びましたので、私は結城市から転居し、筑西市に住むこともあり、日本語支援のボランティアは今回で終了にするつもりです。日常生活において外国人と接する際に、今回の講座を参考にしていきたいです。
- ・外国に日本語を教えるという自信はありませんが交流は存分にしたい。
- ・「のびる会」でずっと外国人を支援していく

11. ご意見

- ・とても有意義な時間が過ごせました。この後、具体的にどう生かしていくか決まっていますが、何だかの形で生かせればと思っています。ありがとうございました。
- ・日本語教授法重点の講座にしてほしかった。今回の講座内容で10回は多すぎる。
- ・定期的なスケジュールの中で、関わりや支援をしていくことは、仕事の状況を考えると難しい。しかし、何らかの活動はしていきたい。毎回、グループワークのような形で他の参加者の方とも話し合うような機会があったのは良いと思う。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・参加者のレベル差があり問題か。接触と教授と分けるべき。かつ程度差を設けるべきではないか。 - 心配なのは回数が多くなり、腰込みにつながるか。
- ・日立製作所グループの従業員を対象にしたボランティア支援制度があります。ボランティア団体に対し、上限30万円を限度に支援金が寄付されますので、希望があれば連絡ください。詳細は、日立製作所のホームページの「大きくなる樹」のところを閲覧ください。
- ・楽しく受講することができました。
- ・外国人との話が出来て大変、楽しく勉強させていただきました。又、このような機会がありましたらぜひ参加したいと思います。ありがとうございました。日中、時間があるので、できましたら平日に勉強ができれば良いと思います。
- ・せっかく知り合えたので、10回の講習会を終了した人々の会を作りたいな。それぞれにバラバラになるのはもったいないな、さみしいな。のびる会に入るだけが方法ではないよね。ひとりで出来ないことが受講できてよかったです。
- ・自分のスキルアップの必要性を強く感じました。やさしい日本語で理解出来るように説明するのは難しいです。私も一緒に学んでいきたいと思います。
- ・私の個人的な目標は、自分の専攻した英語を生かしたいという事なので、のびる会での活動には参加できないと思います。個人的にラジオ講座などを通して、会話を独学で勉強していくつもりです。角田さんの活動には賛同して、協力したいと思いますので、よかったら連絡ください。
- ・現在町内で地域を活性化するための委員会活動を行っております。その中で町内にも多くの外国人がおりますので、何らかの活動ができればと思って今回参加させていただきました。今後、委員会の活動に役立てていきたいと思っています。(文法は苦手でしたが、何とか理解はできました。)
- ・今回の講座で「のびる会」では知らなかった外国のいろんな生活、習慣など知ることができて勉強になった。支援をしていく上で方向が少し見えたような気がした。
- ・参考になる点もあった反面、外国人への日本語教育支援について取り上げる領域を(市民講座にしては)広げ過ぎてしまい、時間的な制約もあって講座の意図が散らばってしまったような印象があった。
- ・一番興味のあった"日本語教え方の基礎"が受講できず非常に残念でした。いろいろな分野で活躍されている方々と話をすることができ非常に良い経験となりました。今後も国際交流のイベント等を通して交流を深めていきたいと考えております。2ヶ月半にわたり御指導頂き深く感謝申し上げます。
- ・のびる会のボランティアスタッフの個人的に工夫して採用している教え方を見せたい。
- ・1.種々の考え方の人と一緒に受講できたのが良かった。2.自分は理詰めで考える仕事をして来たため、その考え方に引きずられて、頭をやわらかくすることができなかったが、今回受講し、少しは別の考え方も取り込もうと思う。3.のびる会の見学を1回入れれば尚良かった。4.のびる会以外で活かせる場を教えてください。
- ・参加型の学習で、外国人の方たちと一緒に学習できたことが貴重な体験となりました。
- ・新鮮な体験が出来て、とても楽しく勉強出来ました。外国人の方々がとても熱心に日本での暮らしを良くしようとしているのが解りました。
- ・常に外国の人に接している市の職員の体験が活かしてもらえるとさらに良かったかなと思います。
- ・講座の教師が様々な立場の人でそれが特に良かった。外国の方にも協力頂けて良かったと思う。もし、もっと日付が多いならば受講している方々のご意見やお話をうかがえたら素敵だなと思った。
- ・貴重な体験ができたと思います。
- ・参加できて良かったです。学校とはちがって、地域の方々の声を聞くことができたのがとても良かったです。外国人の方との交流は、もう少し多くても良かったかなと思います。

日本語支援ボランティア養成講座内容

回	日程	場 所	内 容	担 当	詳 細
1	9/4	情報センター 3 階会議室	多文化共生と日本語支援	長谷川 恒雄 大東文化大学外国語学部日本語学科教授 学校法人長沼スクール非常勤研究員	多文化共生や日本語支援の在り方、近年の日本国内におけるそれらの動き
2	9/11	情報センター 3 階会議室	結城市民(外国人・日本人)の 声を聞こう	本田 亜紀子 結城市小中学校日本語指導協力員	結城市内の外国人児童生徒への日本語指導 ～日本語指導協力員の立場から～
				金城 明 (ブラジルにルーツあり)	外国人児童生徒の教育と将来 ～日系ブラジル人の立場から～
3	9/18	情報センター 3 階会議室	結城市民(外国人・日本人)の 声を聞こう	ジャムパーケーオ ニコム 外国人研修生(タイ)	研修生として来日して
				寺山 美妃 主婦(台湾)	国際結婚、子育てに奮闘！
4	10/2	情報センター 3 階会議室	異文化体験をしよう ～ペルシャ語で“こんにちは”～	ナジミ フェレシテ 大東文化大学大学院外国語学研究科 日本言語文化学専攻博士前期課程(イラン)	言葉がわからない世界を体験しよう
5	10/9	情報センター 3 階会議室	日本語の教え方の基礎	松浦 みゆき 水戸短期大学非常勤講師 (財)茨城県国際交流協会日本語教育アドバイザー	授業の流れ、テキストの使い方、文法など、日本語教育の 基礎的な知識を身につけよう
6	10/16				
7	10/23	アクロス 練習室			
8	10/30	アクロス 練習室	やさしい日本語の作り方	角田 亮子 宇都宮大学大学院国際学研究科博士前期課程 結城市日本語ボランティア教室のびる会メンバー	日本語で外国人とコミュニケーションをとるためのちょっとした工夫
9	11/6	情報センター 3 階会議室	外国人と交流しよう		講座の中で体験したことを活かして、外国人とコミュニケーションをとろう
10	11/13				

日本語支援ボランティア養成講座 受講者数

項目別	項目	人	実数	第1回 9/4	第2回 9/11	第3回 9/18	第4回 10/2	第5回 10/9	第6回 10/16	第7回 10/23	第8回 10/30	第9回 11/6	第10回 11/13	修了証該当
性別	男性	14		14	11	11	11	10	9	10	11	11	11	10
	女性	25		21	18	13	13	16	17	14	14	10	15	15
		39		35	29	24	24	26	26	24	25	21	26	25

実数〔文化庁調査〕

年齢別	20代	5	3	3	3	2	1	2	2	1	1	2	1	1
	30代	4	4	4	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1
	40代	8	8	7	6	4	6	6	6	6	6	3	6	5
	50代	9	9	9	9	7	8	7	8	7	8	6	9	9
	60歳以上	12	12	12	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9
	不明	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		39	37	35	29	24	24	26	26	24	25	21	26	25

居住別	結城市	34
	筑西市	3
	下妻市	1
	県外	1
		39

30	25	20	21	22	24	22	22	18	23	23
3	3	2	1	3	1	1	1	2	1	1
1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
35	29	24	24	26	26	24	25	21	26	25

所属別	のびる会	8
	小・中学校	6
	その他	25
		39

5	4	4	5	5	4	3	5	4	5	4
5	5	2	3	4	6	4	3	2	3	3
25	20	18	16	17	16	17	17	15	18	18
35	29	24	24	26	26	24	25	21	26	25

結城市日本語支援ボランティア養成講座 皆さんの感想（抜粋）

【第1回】

- ・日本語学習者のニーズが多様化している中で、今後どのように日本語教えていけば良いか非常に難しさを感じる。
- ・学習者の立場に合わせた日本語支援の在り方はとても大切だと思った。
- ・難しそうだが、頑張ってみようと思う。
- ・外国人に（も）支えられている日本という形で社会が変わりつつある。多文化的意識が求められている。
- ・日本語の難しさもある中、本日の話で少しながら理解できた。外国語など全く自身はないが、何らかの形でお手伝いできたらと感じた。不安ではあるが、すごく勉強になったで、続けて受けさせていただく。
- ・生活目的のための日本語支援であれば多少文法が間違っているでも意思が通じるようになれば十分。正しい日本語を学ぶ必要のある人にはそれに応じた使い分けを教えなければならなかったと思った。
- ・長谷川先生のおっしゃったように、行政が行うことは限界があり、市民ボランティアの果たしていく役割は大きいと思う。そのメソッドとしても、単なる言語教育のみならず、生活支援の方が大切だと思う。
- ・500年スパンの変化の中にいるという感じが面白かった。人口は減ってはいけないのだろうか。今の日本は多すぎると思うが……。日常の話し言葉（ぺ・べえ）をどうするか。
- ・地域社会に出ることは難しいのに、外国人に接するのは更に難しいと思う。が、他国の言語文化に触れる方法の一部が心の中に開かれた様だ。現在外国の人との交流中ですが、この講座を参考にさせていただきたいと思う。
- ・あまり難しく考えず、外国人との交流をしてみたい。仕事の仲間にも毎日ではないが、時々顔を合わせ、割合話は通じるものだ。
- ・日本語の見極め方がいかに難しいか勉強になった。日本語の理解の仕方の意味のとらえ方とちがうことがわかる。
- ・日本語支援のための基本的な考え方を教えていただいた。1時間程度でお話してもらうには内容が大きすぎて大変だったろうと思った。もっと聞けたらと思う。
- ・学習者を中心とした考えの「日本語支援」というスタンスで取り組むことが、今後益々必要なことであると感じた。
- ・毎朝すれ違うタイ国人の労働者や職場で出会った外国の人達ともう少しコミュニケーションがとれたらと簡単な気持ちで参加したが、言葉というものはとても難しそう。文化を理解すること、理解してもらうことが前提になるのだろうか。
- ・外国人ともっと気楽に接して良いのだと思った。
- ・普段使いなれている言葉を単に言っても、文化の違いで外国人には伝わらないことを知った。地域の外国人とふれあい、まちづくりへ参加できるような役割になりたい。

【第2回】

- ・外国人児童数が多いことにまずびっくり。自分の子どもを結城で育てたが、日本人の私で

さえ教育は大変だった。教育は人格形成には最も必要で、日本にいる外国人が良い人生になるように環境作りの応援支援にもっと力を入れるべきだと思った。

- ・日系ブラジル人として来日してすぐ高校に進学できるのがすごいと思った。並々ならぬ努力があったのだと思う。
- ・本田さんの日本語を教える方法については具体的でわかりやすかった。
- ・私も日本語指導をしているので、本田先生のお話に「そうだな～」と思いながら聞いた。一人一人に合わせた日本語指導を工夫していきたいと思う。金城さんのお話は、来日してからの苦労の様子がよく伝わった。来日してすぐの子どもは金城さんが感じたことと同じ様なことを感じているのだと思った。
- ・とにかく文化の違いに壁がある気がした。希望を与えて欲しいという言葉が重かった。心のケアも本当に大切だ。
- ・本田さんは、日本語を話せない生徒さんに対する熱い想いを強く感じさせられた。金城さんは、大変苦労されて大学を卒業されたと思う。この体験を色々なところで話していただきたいと思う。
- ・学校教育の現場の大変さが良くわかった。言葉の進歩と学習の成長の度合いの区別が難しそうだと感じた。
- ・ブラジルの方の話は良かったが、ところどころ声が小さくて聞き取りにくかったのが残念だった。マイクの使用はできないのかな？
- ・本田さんの話を聞いて、日本語ばかりでなく日本の生活全般に関わっていることを知った。また、児童生徒ばかりでなく、親も含めて、家庭のことも考えなければならないのも大きな負担だ。金城さんの話を聞いて、金城さん自身の前向きさが人生を切り開いたと思った。
- ・様々な職業の方や色々は立場の方が参加していることから、外国人が地域に増えているという現状や交流を持ちたいという願いが強いことが分かってきた。
- ・日本人と外国人、理解し合うことはなかなか難しいと思った。ジェスチャー1つにしても文化の違いによって解釈が変わってくるのだと改めて実感した。実際に話を聞いて、外国から来た人の不安を少しでも取り除きたいと思った。一人一人に見合った指導ができるまでには、経験が必要なのだろうな・・・。
- ・自己紹介で、短時間でのセールスポイントを語る難しさを教えられた（日本語の再勉強にも必要か？）
- ・地域貢献希望者が多いのは同類者が多く心強い。ただ、外国ができるとか、教え方に専門性を必要としている感じがしてきた（ボランティアでは無理か？）

【第3回】

- ・寺山さんの話から日本語教室が言葉を覚えるだけの役割ではなくメンタル部分が多いことを知った。ニコム君の日本での日常生活についても、にこやかに話されていたが、実際は困ることが多いのだろうな。
- ・初めて見る・聞くタイの楽器の演奏しているニコム君からはタイの国とタイ人の誇りを感じた。
- ・寺山さんの話は海外における旅行と生活の違いによる具体的に説明され、日本における外国人の生活の大変さを再認識でき、とても良い話を聞くことができた。

- ・日本語教室の役割は言葉を教えることのみではなく、話を聞いてほしい、精神的ストレス解消などもあると改めてわかった。教科書に頼らず会話をするようにしていきたい。自分が外国で外国語を話すことを思うと、今日の2人のスピーチにはとても感心した。
- ・人と人とのつながりは、言葉より心の繋がりの方が絶対に大事であると感じた。それは自分の得意分野であり、今後外国人とのコミュニケーションを測っていきたいと思う。ジェスチャーで。
- ・寺山さんの話を聞いて、いかに国際結婚が難しいかわかった。しかし寺山さんは努力家だと思った。ニコムさんの話では“日本人は親切です”とのことで、私も日本人で良かったと思った。
- ・アンケート結果にもあるが、病院で言葉が通じないこと薬の処方がわからないことなど支援者が必要だと思った。
- ・日本で生活をするのは単なる観光とは違って、やはり文化の違いで苦勞するんだな。そういう事を知りたいと思っても、日本語がわからないと聞けないし、聞く側の日本人も何が言いたいのか理解できないで、困ってしまう。こちらも何か手助けしたいと思っていいても、どうしたらいいかわからないのだと思う。
- ・寺山さんの「住まないとその国のことはわからない」は実感がこもっていた。同感。周囲の支援、特に病気の時は、全くその通りであり、今回申し込んだ理由の一つで、ぜひ支援していきたい。生活全般の相談相手になるには、相互信頼も必要で時間がかかりそう。ニコムさんの研修生生活が何え、楽しかった。
- ・研修生がとても勉強熱心、外国人が日本を知ろうとしているということが体験談を聞いてよく理解できた。日本人の私も、もっと積極的に外国人と関わらなくてはと反省した。
- ・外国から来た人がどのようなことを感じているリアルに感じられた。特に交通、医療。社会人の人と中学生と比べてみると、多少違いがあるのかなとも感じた。

【第4回】

- ・初めて習う外国語は日本語や英語を覚えるのとは違い、とても新鮮な感覚だった。
- ・文字、意味を創造しながらの学習は楽しい。理解しようと集中できる。逆の立場も理解できる（相手に理解していただく難しさ）。
- ・何を意味するのか日本語では何のこゝかを彼女の表情や全身から考えるのに疲れたけど楽しい体験だった。
- ・外国語の学習は感覚を駆使する訓練であることを再確認した。
- ・言葉の通じない人とのコミュニケーションは今日のような形ではじまるのかと思える。
- ・新しい言葉だったのとスピーディーだったので、手に沢山汗をかいたが、無理な量ではなかった。言葉と筆記を同時に覚えることは大事だと思った。
- ・教室の二次元的な使い方が（空間利用）日本人と違い、文化の違いを感じた。
- ・文字・発音のルールが全くわからないと想像がつかず、理解が難しい。外国人にとっても日本語の習得の難しさがわかった。楽しかった。
- ・全く分からない言葉だと思っていたが、親近感がわいた。文字や規則の文法から入るのも良いが、今日のような形式も面白かった。日本語が話せない設定が良かった。
- ・ペルシャ語を教わるのは初めてだった。これからあらゆる国の言語に携わって教えるには

今日の講習はとても参考になった。

- ・耳から学ぶ言葉は正確でないかも知れないが、忘れないかもしれない。
- ・初めての言語は難しい。さすがに若い人たちは反応が早いようで、すぐ覚えられることは素晴らしいと思った。
- ・回を重ねるごとに親しみがわき、和やかな雰囲気ですべて楽しく過ごしている。
- ・教え方がとてもよく考えられていると思った。日本語を使わない教え方があると聞いていたので参考になった。
- ・外国語を知れば、コミュニケーションができるし、お互いの国の文化がわかるかも。
- ・言葉が分からない時、相手が何を言いたいのか、一生懸命相手の言いたい事を理解しようと色々考える。一生懸命つたえようとする姿は感じた。
- ・なぜペルシャ語を取り入れたのか不思議に思った。各人、言葉を覚えようと一生懸命だった。
- ・同じ地球上に住んでいて、他国の言葉を勉強しコミュニケーションがとれることの素晴らしさを感じた。片言でも良いから話せるようになりたい。これが外国旅行の一番の楽しみであり、逆に外国人に日本語を教えられたらと感じた。講師が日本語 NG とのことで、なかなか理解できなかったが、逆に教え方としては、一生懸命考えなければならず、大変良い方法と思った。考えさせた後に答えを言う方法の方が、教え方としては良い方法と思う。全く意味の解せない文字が 32 から成り立っていることを知り、親近感を覚えた。
- ・「日本語がわからない」の設定が良かった。英語ができることが安心感である。なごやかなグループになってきた。講義と違い「全員が参加している」意識があるように思う。
- ・全然わからないものと決めつけないでやってみると楽しかった。字の仕組みがおもしろい。
- ・初めての言葉にとまどったが、授業を受けてみて楽しかった。フェレシテさんも日本に来て苦労して覚えたのだらうと思った。
- ・外国語の学習はどのようにしていくと身に付くのか、まだまだ難しい。逆に考えると、日本語はどう教えたらいいのか？楽しい時間が過ごせた。
- ・絵を使って言葉の意味を伝えるやり方は、どの国でもどんな言葉でも有効であること、大切なやり方であることを再度認識した。
- ・普段なじみのない言葉（全くわからない言葉）を学ぶのは難しいと思った。発音は合っているか、意味が合っているか…色々考えてしまったが、何回も練習していくうちに少し話すことに慣れたかなと思った。
- ・ペルシャ文字の構成を教えていただいたことが非常に参考になった。ペルシャ文字は子音、母音それぞれを表す記号の組み合わせで構成されており、結構ハングルに近い構造であることがわかった。講師は「メルシー」という言葉をよく使っていたが、ペルシャ語なのでしょう。それとも日本人が軽く「サンキュー」という程度の外来語なのでしょう。

【第 5 回】

- ・例示を多用してくれるのでわかりやすかった。
- ・改めて日本語のルールや使い方を意識させられた。
- ・改めて日本語の難しさを感じた。普段使っている本人がそう思うのだから、日本語のできない人は相当大変だと思う。

- ・日本語が全くできない外国人は、日本に来てどんなに苦労したのだろう。
- ・文法は苦手。頑張ります。
- ・日本語の難しさを改めて感じたが、興味がわき、さらに勉強したいと思った。
- ・外国人に日本語を教えるには、国文法よりも日本語教育文法を使用した方が分かりやすいと思った。
- ・外国人に日本語を教えるのに、文字は始めから必須なものかという疑問が生じた。
- ・「ん」の発音が何種類もあることは、普段全く意識していなかったのもので、教える立場になった時には違いを区別できないといけないんだなあと思った。
- ・とても難しかったけれど時間の経つのが早かった。良い勉強になった。
- ・日本語を拍で教えるというのが新鮮だった。
- ・国語が大の苦手だったため、これを機会に復習を行なってみます。
- ・日本語を教える側として勉強すると、新しい発見があり、とてもおもしろい。
- ・松浦先生の行動、一緒に行動する教え方は良いと思うが、日本語文法を理解するのが大変そう。
- ・日本人でいながら何気なく使っている言葉にもああそうだ！と思うところがあった。少々難しかった。
- ・生まれ育つ中で習得する言語は、ほとんど意識することなく使っているだけに、日本語をこれから覚える外国人に教えることの難しさを感じた。
- ・講師の松浦先生のご指導の仕方が良かったです。ありがとうございました。

【第6回】

- ・日本語が難しい言語だとつくづく思う。日本語の教え方という学問があるんだ。学問として教え方を学ばなくてはならないの？自分がまだ理解できていないのが歯がゆい。
- ・まだ少し足を突っ込んだだけで頭が疲れている。全部は理解できなかった。
- ・文法的なことはあまり意識していなかったが、このように系統立ててやってくざさると、自分の学習にもなってよかったです。
- ・「いちりって」の歌の意味が初めてわかった。歌で覚えてしまえば苦ではないと思う。媒介語を使って教える、日本語だけで教えるそれぞれの長所短所を自覚して使いたい。
- ・子供に教えるのではなく大人相手なので、あまりしつこく繰り返すのも嫌がられるので、実際は理解できていないと思いながら、先に進むことも多い。体系立っていなくても分量だけでもいいか・・・と思っている。
- ・テキストの構成は横割りの構成なので、同じ文法事項を継続して学ぶので、学習者にとって学びやすいが、教える側は、どの問題がどの文法事項なのかを理解していないと教えられないので、予習が必要だと思った。今日の講習はとても難しいと思った。松浦先生は日本語教育について深く理解しており、素晴らしい先生だと思った。憧れた。松浦先生は真面目な人だと思った。
- ・「日本語について」勉強するのと「日本語（会話）」と勉強するのは違うのではないか。
- ・母語として日本語を使っていると気がつかなかったが、動詞の活用にしても、まるで大学の時にフランス語の動詞を覚えた時のように系統的に教えることが有効であることを実感した。

- ・基礎学力が全くないので難しい。親切にアドバイスをして頂いたが、なかなか覚えが悪いので頭の中はパニック状態です。
- ・絵を見ながらだといくらか教えやすいような気がする。
- ・慣れない学習法なので戸惑った。
- ・文法を覚え直さないと忘れてしまっている事が多い。特に日本人として使っている文法と教えるための文法は形が少し違う。皆さんとても熱心だった。
- ・難しい。分かったような、分からないような。同じ席に先生が居て助かった。
- ・学校文法との衝突あり。苦痛。
- ・全般に難しく教える事が不安になってきた。私以外の人達は今日の講座を理解できたようです。
- ・文法は苦手で大変難しいです。大変難しいですが、少なくとも今講座で教えていただいた内容は復習して、自分のものにしておきたいと思います。やればやる程奥が深くて、教えられなくなっていきそう。
- ・これからのびる会で自分の教え方に少しこの方向を使ってみようと思う。なかなか難しそうだが。
- ・正直なところ難しい。内容が濃いので、消化不良を起こさないよう、帰ったら復習してみようと思う。唯一無二の方法はないというけれど・・・。
- ・難しい。数時間で学びきれるものではないが、頑張る。
- ・教え方の再確認ができた。
- ・普段日本語を使っている日本人でも動詞の変化を文法で覚えるのは難しそう。

【第7回】

- ・分かりやすい日本語に言い直す訓練は日常でも役立つことで実践したい。
- ・日本語の教授・学習を通じて自分・相手の文化（習慣）を知り、互いにそれを認め合うことができれば「共生」になるが、日本人の側で学習者に配慮しなければなかなかそうならないのではないかと漠然と感じた。
- ・日本語固有の文法は教えるのは難しいと思ったが、機械的に教える方が良いという説明が印象的だった。
- ・当面、地域に住んでいる外国人とコミュニケーションをとってみたいと思うようになった。模擬授業は大変役に立った。実際に外国人に教える姿を見せていただき、これまでの学習内容の重要性が理解できた気がする。
- ・記憶に残る導入を心がけることが大切だということがわかったので、これからの指導に活かしたい。
- ・自分自身も基本的な日本語がまだまだわかっていない気がした。日本語を普通に話すのと基本を学ぶことはとても大変な様に思う。つまり教科書通りに話すことがとても大変なことだと思った。
- ・役に立てる人になれば良いなと思った。経験ない事を沢山楽しく学んだ。
- ・ベトナムの方たちと机が近かったので色々話をして、研修生としての生活や母国の家族のことなど聞いたことが良かった。
- ・生徒（日本語学習者）のレベル、学習年数、その他いろいろに合わせて色々な教え方があ

ってもいいんだと思う。

- ・もっとしっかり日本語の教え方を学んでみたいと思う。難しさもあったが、興味がわいた。先生が熱心に教えてくださったことに感謝しています。模擬授業が緊張することはとても良くわかります。日頃の教育活動の一端を見せていただいたと思います。ありがとうございました。
- ・3回の授業、とても中身が濃くて、勉強になった。
- ・少しでも日本語支援をすることでお互いが生活しやすくなると思った。
- ・実際に口語練習をしていくと日本語能力が上達していくのがわかる、私たちが英語を学習しても上達できないのは、口語練習不足？

【第8回】

- ・いかに外国人の方に日本語を分かってもらうかが大変だということがわかった。外国人の方にわかりやすく、簡単に説明できたらと思う。身振り手振りなど交えると少しは日本語がわかってもらえるような気がする。
- ・ロールプレイで1つの言葉を伝えるのにいろんな方法を使えば通じることがわかる。
- ・外国人にとって理解できるやさしい日本語を考えるのが難しかった。相手の様子を見ながら話すのが基本なのでしょうね。
- ・外国人窓口の書き換えは難しかった。やさしい日本語を使うと、短い文章にしなければならなかったことがわかった。会話の実践はおもしろかった。お互いに日本人なので言いたいことは伝わるが、相手が外国人または自分が外国人だったら、こんなスムーズに伝わらないと思う。
- ・実務で体験している人（例えば市民課の人）に見本に一部を話してもらってから練習してみたかった。
- ・公的機関では外国人への対応の仕方を職員が徹底し、説明は簡略化することが望ましいと思う。外国人の対応の準備があることがわかるようにしておくことが重要かと思う。
- ・やさしい日本語で相手に要件を伝えるには、聞き方の工夫と、要点のまとめ方が重要。場数を踏んで経験を積みたい。
- ・伝えなければいけないことを抽出してわかってもらえる言葉で言うということは、普段あまり意識していないので、訓練が必要だと思った。こちらが言いたい事を全部言うことから、相手がわかることだけ言うようにする方が親切なのだと思った。逆に相手の言いたいことがわからないうちにあれこれ推測して話し手しまうと誤解しやすいこともありそうなので、ゆっくり相手の言葉を聞く必要もあると思った。
- ・何気なく使っているが、やさしい日本語にすると日本人でも分かりやすいと思う。ついつい詳しく説明してしまいがちだが、相手に分かりやすいことを考えて、簡単に短く話し手あげたいと思った。
- ・日本語をいかに分かりやすく、分かってもらえるように説明することは難しい。やさしい日本語、外国人にもわかりやすい日本語、実感です。
- ・日本語をやさしくするのはとても難しかったが、日常使っている何気ない言葉を見直すきっかけになった。楽しかった。
- ・日本人の日本語と外国人が理解できる日本語の違いを改めてわかり、とても良かった。

- ・普段当たり前に使っている言葉・単語をわかりやすく言い換えるのは難しい。我々日本人の何気ない表現・会話が外国人にとってはわかりにくいことがわかった。
- ・普段使っている言葉でも、日本語のわからない人のレベルまで言い換えるのは、単語の意味だけでなく、場面を想像することが重要だとわかった。
- ・もともとジェスチャーにて外国人に接する事の好きな私も、今日の授業が一番勉強できた気がした。
- ・易しくなかった。難しかった。相手がどの程度日本語が話せるかを知ることが大切だと思う。また、相手に伝わったかどうかの確認を丁寧にする必要があると思う。
- ・困っているのかなと感じた時、話しかけるのは私には勇気がいる。しかし、第一歩を踏み出さないと何も始まらないのでトライしていきたい。
- ・日本語を外国人に教えていくには、やさしい日本語の理論をみにつけておくと、外国人にとっては分かりやすく日本語を学ぶことができると思った。

【第9回】

- ・同じ結城市民でも難しい分別回収をどう理解させるかが難しかった。細かい分別方法を市報で見たとおりの説明をしても理解してもらえない。
- ・日本人も外国人も同じ仲間（友達）になれた。
- ・国が違って一つ一つに対して考えが同じ・違うというのは国に関係がないと思った。日本語が難しいと考えている人が多いと思った。
- ・どの国の言葉が難しいかというゲームでは外国の皆さんが本当によく日本語を話せるので立派だと思った。私はどの国の言葉も難しい。
- ・言葉は通じなくても意外に心が通じ合った。
- ・外国人と話ができて大変面白かった。良い体験ができた。
- ・外国人との交流の機会が今後もあってほしい。外国人の2人も色々質問してくれたが、私特優のジェスチャーを交えれば結構話ができるものだと実感した。
- ・お互いの伝えたい事が理解できた時は互いに嬉しく楽になる。
- ・ゆっくり耳をかたむければいいことは色々あるのに、つい先にこちらが話してしまいそうになるので、その辺の加減が難しかったと思った。
- ・言葉がわからなくても身振り手振りで言葉（話）がわかる。言葉は違って同じ人間だということがわかった。

発行/編集 結城市国際交流友好協会

〒307-8501

茨城県結城市大字結城 1447

(結城市役所 企画政策課内)

TEL 0296-34-0404

FAX 0296-32-7123

E-mail kikaku@city.yuki.lg.jp